

(第2号様式)

神奈川県教育委員会教育長 殿

平成 27 年 4 月 10 日

県立平塚江南高等学校長

### 平成 26 年度 学 校 評 価 実 施 報 告 書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
学力向上進学重点校として、生徒の進路希望の実現に繋がるバランスのとれた内容の教育課程を編成する。	<p>学力向上進学重点校として、生徒の第一希望の進路実現を目指し、難関国公立大学の受験科目の選択履修をさらにスムーズにさせるよう、教育課程や設置科目等を検証し、課題解決に向けた見直しをすすめる。</p> <p>大学入試科目等の調査や生徒の科目選択希望を的確に把握し、さらに選択希望の変更が生じた場合の対応方法等を組織的に確立させ、生徒一人ひとりの幅広い学習ニーズに対応した指導を充実させる。</p> <p>年間を通じた授業確保に努め、各科目の授業時間数のバランスを把握し、その是正を行うための特別時間割を計画的に編成していく。</p>	<p>生徒の進路希望の実現に繋がる教育課程・設置科目等の検討により、課題解決に向けた取組がすすめられたか。</p> <p>大学入試科目の調査と生徒の選択科目希望を的確に把握することや、変更が生じた場合の対応方法等を確立することで、生徒の幅広い学習ニーズに対応できたか。</p> <p>職員全体に授業時間数を示し、その是正のための特別時間割を計画的に編成し、実行したか。</p>	<p>年度当初から教育課程検討会議を精力的に進め、各教科の意見調整を図りながら、科目選択の改善等、難関国公立大学の受験により一層対応できるカリキュラム改善に取り組んだ。また、企画会議では、中長期的な展望である「江南高校の今後のあり方」を作成し、国及び県の教育改革に付随するこれからの時代に求められる力の育成に、学校全体が組織的に対応するための指針を示した。</p> <p>新課程でのセンター試験の情報をはじめ、大学の説明会や各種研究会等で得た情報等を、学年会や回覧などの方法で共有化に努めた。また、生徒対象教育課程説明会において、大学入試科目を踏まえた変更点や注意すべき点を中心に説明した上で、選択科目集計を行い、選択希望の変更は学年と連携し、生徒一人ひとりの状況を踏まえながら可能な範囲で計画的に行った。</p> <p>授業確保に努めた。すべての曜日、時限の授業時間数をカウントし、その偏りの調整を行った。(曜日の変更と試験前日のカット変更。2回ずつ実施)</p>	<p>「江南高校の今後のあり方」を踏まえた具体的な取組を職員全体で知恵を出しながら推し進め、教育課程に反映していく。</p> <p>新課程の理科・数学、また地歴・公民科目でのセンター試験の結果や入試結果等を踏まえ、教育課程に反映すべき点を整理していく。また、今後も生徒の選択希望の変更は、学年と連携をしながら、可能な範囲で対応を進めていく。</p> <p>非常勤講師の授業や3年の系の授業の変更もあり容易ではないが、授業時間数の確保のため、偏りの調整を今後もしっかり行っていく。</p>	<p>(学校評議員)</p> <p>これまでの取組について評価できる。</p> <p>地域を代表とする伝統ある名門校としての自負を持って進めてほしい。</p> <p>授業確保は当然のことであり、すばらしい。ぜひ追求を続けていただきたい。</p> <p>(保護者等)</p> <p>江南のカリキュラムは、受験を見据えて、無駄が少なくよく考えられている。</p>	<p>江南高校の現状分析による成果と課題を把握し、中長期的な展望である「江南高校の今後のあり方」を示すことによって、全職員で進むべき方向性を確認することができた。</p> <p>さまざまな入試分析研究会に参加することによって、最新の入試動向を共有化し、還元することができた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>「江南高校の今後のあり方」に示した進むべき方向性の6つの柱を平成27年度より具体的に進めていく。</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>教科指導・生徒指導・進路指導が一体となった取組をさらに推進し、生徒一人ひとりを支えるきめ細かな支援体制を充実させる。</p>	<p>生徒の進路希望の実現に向けて、グランドデザイン・3年間の進路実現に向けたフローに基づき、すべての学年が各教科・各グループ・各部活動等の顧問と連携を取りながら、個別の進路相談や面談の充実を図る。そして、生徒の自主的・計画的・継続的な学習態度を育成する。</p> <p>最新の進路情報の提供や進路講演会等を通して、生徒に最後まであきらめない高い志を持たせる進路指導体制をさらに強化する。</p> <p>生徒の健康上の課題に対応した学校保健計画を作成すると共に、生徒の心身を支える教育相談体制を充実させる。</p>	<p>学校全体が一丸となり、試験結果等のデータを有効に活用しながら、個々の生徒に対する支援の機会を適切に設け、生徒自身のマネジメント能力を高めることができたか。</p> <p>進路通信等での情報発信が定期的に行われたか。また、講演会や集会等で有益な情報の共有がなされたか。</p> <p>スクールカウンセラーを活用し、教育相談の充実を図ることができたか。また、保健・安全についての生徒の意識を向上させることができたか。</p>	<p>定期的に行う外部模試の結果を過去のデータによる定点観測を踏まえながら、全国における強みと弱みを的確に分析し、改善に向けた教科指導や生徒一人ひとりへのアドバイス等によるマネジメント能力の育成に徹底して取り組んだ。さらに各学年において、定期試験の結果も含めて、夏季休業中等の機会における面談で適切な支援を行った。</p> <p>センター試験の変更点、受験科目の調べ方等について、学年会への情報提供、進路通信の発行、職員会議での説明等を通して、効果的に実施できた。進路通信においては、各学年とも適切なタイミングで発行し、生徒や家庭にとっての有益で重要な情報提供とともに、職員全体が情報を共有化することで進路実現に向けての団体戦の意識向上に成果を上げた。</p> <p>教育相談コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラー、学年の一体化した教育相談体制により、多角的に生徒の状態を把握することができた。スクールカウンセラーを交えた定期的な教育相談打ち合わせや報告会により、生徒一人ひとりの支援を図った。さらに県のスーパーバイザーであるスクールソーシャルワーカーとの連携も図り、成果を上げた。生徒の保健・安全についての意識向上については、保健体育の教科を中心として特に指導をしているところであるが、学校行事等による薬物乱用防止教育や携帯電話教育、AED実技講習等を実施し、成果を上げた。</p>	<p>今後もアセスメントを活用した学力向上及び進路実現への取組を強化していくとともに、生徒と向き合う時間の確保のために、日常の業務や行事の見直し等を進めていく。</p> <p>今後は、東京大学の推薦入試導入に見られるようなグローバルな視点を持った課題解決能力や創造力、コミュニケーション能力等の育成が重要視されることから、その対応を進めていく。</p> <p>スクールカウンセラーによるカウンセリング後の打ち合わせを教育相談担当以外の職員にも参加できるよう、工夫する必要がある。また、今後は、より効果的な改善に向けて、教育相談コーディネーターを中心とした個別支援計画の充実を図っていく。</p>	<p>(学校評議員)</p> <p>中長期的な展望に立って、現状分析とこれからの方向性を示したことは、評価できる。この方向性に示した具体的な取組を進めてほしい。</p> <p>毎日の生徒の家庭での勉強時間が少ないと思う。試験の一週間前や試験期間中に練習を行っている部活動があるが、公式戦がその期間にあるためなのか。これが2学期制によるものならば、検討する必要があるのではないかと。試験に臨める状態にしてほしい。</p> <p>高校3年間は、今後の社会を担っていく人材にとっての一番大切な基礎作りの期間であるので、カウンセリングの充実等によって少しでも向上が図れるような配慮をお願いしたい。</p> <p>(保護者等)</p> <p>どの教科の先生方も生徒が学習に躓いたとき、積極的にサポートして下さるところが、素晴らしい。ぜひこの伝統ともいえる体制を今後も続けていただきたい。</p> <p>江南高校は、どの先生も丁寧な生徒を指導し、学力の分析をしっかりとしてくださるので、心強い。また進路通信はとても役立っているので、今後も続けてほしい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>学習指導・生徒指導・進路指導の一体化した取組を強化することができた。</p> <p>「アセスメントを活用した学力向上及び進路実現への取組」の図によって、取組の方向性を共有化した。また、定点観測による的確な分析報告会、エール交換、部活動顧問からの声かけ等により、高い進路実現に向けてチーム江南としての最後まであきらめない団体戦意識を向上させることができた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>毎日の生徒の家庭での学習時間の増加を促すよう、あらゆる手立てを進めていく。また、試験期間前、試験期間中における部活動のあり方を検討していく。</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>組織的な授業改善への積極的な取組をさらに推進し、生徒の高い志を持った進路希望の実現に繋がる質の高い授業をめざす。</p>	<p>生徒による授業評価、実力テスト結果等を分析することで、教科として成果と課題を適切に把握し、学校全体が組織的に授業改善に取り組む。</p> <p>指導法や知識の共有化を図るために、3年間を見通した学習指導計画を教科内で共有し、全教職員が共通理解のもとに質の高い授業力向上を図る。そして、知的探究心を喚起し、生徒の学習意欲、思考力・判断力・表現力等をさらに高めるよう、授業改善をすすめる。</p> <p>部活動・委員会活動の顧問が部員の学習状況を把握し、学習面も含めた支援体制を引き続き推進する。</p> <p>県立高校教育力向上推進事業 Ver. における学力向上進学重点校として、教育活動を公開して研究協議を行い、本校における学習指導及び進路指導体制をPRする。</p> <p>生徒の学力向上に繋がる長期休業中の講習・土曜講習・宿泊オリエンテーション等、さまざまな学習機会を設けて生徒のニーズに応える取組を充実させる。</p>	<p>教員授業研究期間の取組を充実できたか。また、教員が自らマネジメントをすすめる、授業評価を適切に実施し、教科として成果と課題を把握し、授業改善に役立てることができたか。</p> <p>3年間を見通した学習指導計画の点検・改善が教科内で適切に実施できたか。そして、知的探究心等を高める取組が行われたか。</p> <p>部活動等の顧問が部員の学習状況を把握し、個々に指導助言することができたか。</p> <p>教育活動を公開して研究授業及び研究協議を実施し、今後の改善に生かすことができたか。</p> <p>長期休業中の講習・土曜講習・宿泊オリエンテーションを適切に実施できたか。</p>	<p>各教科で生徒による授業評価の分析を行い、改善への取組を推進した結果、生徒の評価が多くの項目で昨年度より向上した。また、教員相互の授業参観記録として60枚の提出があったが、どれも各教科からの報告内容が充実しており、組織的な授業改善がより一層推進された。</p> <p>江南学力スタンダードとして、3年間を見通した学習指導計画の点検・改善が教科内で実施できた。また、各教科において、思考力、判断力、表現力等の育成を強化する取組が見られた。</p> <p>定期試験の結果と成績の推移を確認できるように部活動別に分けた表を作成し、部活動顧問からの指導助言に活用した。</p> <p>11月13日に公開研究授業・研究協議会を実施した。研究協議会においては、分科会と全体会を設定し、学力向上進学重点校としての取組を伝えることができた。公開研究授業の指導案については、課題改善に向けての試案として教科で作成することを明確化した。アンケートによると他校からの参加者の満足度は高く、学力向上進学重点校としてのミッションを達成できた。</p> <p>アンケートによると96%の生徒が「宿泊オリエンテーションは役立つ」と回答し、成果を上げた。長期休業中の講習は、多様な生徒のニーズに対応した多くの講座が設定できた。夏季講習の参加希望は延べ人数2009名、冬季学習は782名で昨年とほぼ同程度であり、特に3学年の参加者が増加した。土曜講習については、8回実施し、76%の生徒が「土曜講習を役立てることができた」と回答し、成果を上げた。</p>	<p>今後も生徒による授業評価を真摯に受け止め、授業改善につなげていく教科会をさらに充実させ、質の高い授業を展開していく。</p> <p>今後も江南学力スタンダードの充実を促進し、教科として組織的に思考力、判断力、表現力等の育成に努めていく。</p> <p>今後もデータの活用と職員会議等での模試の結果分析報告によって、部活動顧問からの声かけを含めたあらゆる生徒へのアプローチを進めていく。</p> <p>教科の課題の把握と改善のための試みとしての研究授業の位置づけを明確にし、公開研究授業における研究協議全体会の内容を充実させていく。</p> <p>宿泊オリエンテーションについては、非常に満足度が高いことから、今後も継続していく。長期休業中の講習や土曜講習においても各教科が工夫をして取り組んでいることから、今後もよりよいものとなるよう、継続していく。</p>	<p>(学校評議員)</p> <p>これまでの取組について評価できる。</p> <p>11月の授業公開では、授業の質が高いことが確認できた。受験のためだけのものではなく大学入学後の学生生活にも言及した内容があったことに感心した。人間教育としての授業を位置付ける視点は大事である。今後も授業を一方通行のものとはせず、生徒とのコミュニケーションを大切に進めてほしい。</p> <p>ある教科においては、生徒の授業評価に対する教科としての分析に不満が残るものがある。努力不足と受け取られかねないものである。</p> <p>(保護者等)</p> <p>これまでの取組については、先生方の努力によってすばらしいものである。今後も生徒一人ひとりの成長を促してほしい。</p> <p>範囲が終わらずに学年末を迎えてしまう科目がある。授業で習っていない部分を生徒が後から、独学で勉強するのは相当の負担であり、受験においてハンデとなる。全範囲をしっかりと年度内に終わらせてほしい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>教員相互の授業参観、公開研究授業と研究協議などの実施、生徒による授業評価の結果の活用などによって組織的な授業改善を一層進め、質の高い授業を展開することができた。</p> <p>公開研究授業、研究協議会を充実させることによって、本校の学力向上進学重点校としての取組をより一層外部に発信することができた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>生徒による授業評価の分析については、少数意見にこそ、しっかりと向き合い、その原因を捉え、今後の改善に生かしていく必要がある。そのため、授業評価分析会の進め方を検討していく。また、引き続き学習指導計画の点検を行い、授業の進行管理を進める必要がある。</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>キャリア教育の視点に立った組織的な進路指導体制の充実を図ることに加え、社会のルールを遵守する態度と豊かな人間性を育成する。</p>	<p>入学から卒業までの3年間のキャリア教育の体系化をはかり、基礎的・汎用的能力を育成するキャリア支援プランを構築する。</p> <p>3年間の各学年に応じた適切なキャリア支援について、教科・学年とのより深い連携を構築する。そして、学年ごとに進路指導上の課題を明らかにし、自らの高い志に向かって頑張る生徒の数を増やす。</p> <p>総合的な学習の時間等の有効的な活用を図り、世界に通用できる人材を育む機会を推進する。</p> <p>豊かな知性や教養の育成を支える学校図書館運営を更に充実させる。</p> <p>学校行事や部活動を活性化し、生徒の人間性や社会性を高めるとともに、自主性・リーダー性を育成する。</p> <p>学力向上進学重点校としての学習規律、マナー遵守等を含めた道徳教育の充実を図る。</p> <p>行事の準備・運営における生徒の自主的活動を支援する。</p>	<p>学年の生徒の状況に応じたキャリア支援を実現できたか。</p> <p>各グループ・学年との連携をさらに強化し、教員及び生徒全体の団体戦意識をさらに高め、5(6)教科7科目センター受験者数及び難関大学の現役合格者数を増やすことができたか。</p> <p>グローバルな視点の教育が実施できたか。</p> <p>総合的な学習の時間や進路指導を支える図書館運営ができたか。</p> <p>校内・校外において、生徒が切磋琢磨する場を多く設定することができたか。</p> <p>ホームルームや集会等で生徒を啓発し、意識向上を図ることができたか。</p> <p>生徒の自主性を育む機会を多く設定できたか。</p>	<p>学年ごとのキャリア講座に加え、看護・医療系進学希望者を対象にインターンシップの説明会を行い、生徒が参加しやすい環境を作った。また、第一三共平塚事業所や筑波大学プラズマセンター見学等、生徒のキャリア意識を広げるイベントを実施することができた。</p> <p>5(6)教科7科目センター受験者数は、若干昨年に比べて減ったが、難関大学合格者数は増加した。</p> <p>県教育委員会より新エネルギー教育支援事業に係る実施推進校として単年度指定を受け、講演会や見学会、理科の各種実験を通じて、地球規模での環境に関する視点を持つ人材の育成に取り組んだ。</p> <p>図書館の環境整備は十分行われており、生徒が利用しやすい図書室になっている。読書案内の定期的発行や、図書見本巡回を行い、じかに本を手にとってリクエストをする機会を設定し、新刊案内にも工夫を凝らした。</p> <p>体育祭が活性化するように内容を検討し、生徒の人間性や社会性を高め、リーダーとして活躍できる人材を育てるように努めた。また、かながわハイスクール議会に参加し、地方自治、地域社会の活性化について意見交換をした。</p> <p>服装指導、廊下での挨拶、授業の際の挨拶等の礼法指導を積極的に行った結果、その成果が現れた。また、継続した登校指導を展開し、安全指導とともに自転車乗車時のマナー等の注意喚起を継続して実施した。最近、駐輪場を整えた効果で、整然とした駐輪を行えるようになっている。</p> <p>体育祭の準備・運営の流れを明確にし、生徒の自主的活動を支援することができた。また、中央委員会を招集し、学校行事や部活動などについて話し合う機会を設けた。</p>	<p>総合的な学習の時間をより充実させ、より多くの大学、企業、同窓会、PTA等の連携を促進し、キャリア教育の機会を充実させていく。</p> <p>今後も難関国公立大学への進路実現に向け、最後まであきらめない意識を高め、5(6)教科7科目センター受験者数を増加させていく。</p> <p>「江南高校の今後のあり方」の根幹にあるグローバル人材の育成に向けて、「総合的な学習の時間の基本方針」を示したところであるが、今後は、その具体的な取組を進めていく。</p> <p>行事等で必要な資料を迅速に提供できるようにして、より親しみやすい読書案内等を発行し読書への関心をさらに高めていく。</p> <p>今後も校内・校外の活動において、生徒の育成すべき能力を明確にして、それをしっかりと伸ばす働きかけをしていく。</p> <p>SNSに絡む生徒間トラブルをいかに未然に防止するか。携帯電話教室等、年度当初に設定していく。</p> <p>体育祭においては、適切な自主的活動を促すために、準備について明確でない部分をはっきりさせていく。今後も生徒自らが考え、行動する場面の機会を提供していく。</p>	<p>(学校評議員)</p> <p>総合的な学習の時間も使いながら、英語で発表する授業を進めてほしい。</p> <p>大学に進学後のより具体的な進路希望に合わせ、可能な限りのインターンシップの取組をより積極的に進めていくべきである。そのためには、地域のOB、その会社等を巻き込みながら、また同窓会の力を結集した応援体制を築いていきたい。より広範囲での生徒の希望を学校としては、汲み取っていただきたい。</p> <p>難関国公立大学を目指す生徒を増やしていただきたい。生徒の可能性を最大限伸ばし、最後まであきらめさせない体制をさらに推進していただきたい。</p> <p>(保護者等)</p> <p>キャリア支援の一環として、卒業生を招いて活躍している分野の講演をお願いしているが、今の形で生徒が受け身の状態になっていると感じるので、平成27年度からは生徒にとって、もう一步身近に感じられるような形を作りたい。</p> <p>これからの時代で要求される教科の枠を超えた視点による課題解決力、創造力、表現力等は、高校時代の経験に左右される。ぜひ総合的な学習の時間や各教科等において、その取組を強化し、グローバル人材を育成してほしい。</p> <p>生徒の自主性、人間性、社会性を高め、江南生としてのブランド力を推し進めている取組はすばらしい。今後もさらに指導をお願いしたい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>外部との連携を進めたことや、日頃の生徒指導、生徒会活動や体育祭等の学校行事によって豊かな人間性や社会性を高めるキャリア教育をより充実させるものとなった。</p> <p>生徒の課題解決力や表現力等を育成する場が少ない。そのため、「総合的な学習の時間の基本方針」を「江南高校の今後のあり方」の枠組みの中の1つとして作成し、総合的な学習の時間が、キャリア教育の4つの基礎的・汎用的能力を育み、グローバル人材育成の根幹となるようにした。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>大学、企業等との連携を進め、「総合的な学習の時間の基本方針」によって、平成27年度入学生の3年間にわたる具体的なプログラムを構築し、実践していく。平成25年度、平成26年度入学生については、この基本方針に基づく実践を可能な範囲で行う。</p>

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>広報活動を積極的に に行い、地域等との 連携を図りながら、 地域と共に育つ開 かれた学校づくり を推進する。</p>	<p>学校経営方針や学校の魅力を 伝える学校案内、ホームページ をさらに工夫する。 保護者・同窓会・地域等に学 校の取組について積極的に広報 活動を行い、開かれた学校づく りをさらに充実させる。 学校説明会等で学校の魅力を 伝える広報活動を工夫する。 保護者・同窓会・地域等の教 育資源を活用するとともに、生 徒自らが地域等で生き生きと活 躍し、交流を深める教育活動を 展開する。</p>	<p>効果的な学校案内・ホームペ ージが作成できたか。 保護者・同窓会・地域等に積 極的に広報活動が行われたか。 学校説明会等で学校の魅力を 的確に伝えることができたか。 保護者・同窓会・地域等との 連携が密に行われたか。また、 生徒が地域等で活躍し、交流を 深める取組が行われたか。</p>	<p>ホームページは、情報発信をタ イムリーに行った。画面も整理 し、見やすいホームページにし た。学校案内も生徒が描いた表紙 が好評で、内容もわかりやすいも のとした。 保護者向けの公開授業を実施 し、江南の授業の様子を広く広報 した。学級懇談会、学年懇談会等 においては、保護者と積極的に情 報交換を行い成果を上げた。また P T A、同窓会との円滑な連携を 通じて、生徒一人ひとりの支援を 行った。 8月の学校説明会では800名程 度、11月の学校説明会では、750 名程度、12月の学校説明会では 650名程度の来場者となり、昨年 度と比べ約4%増加した。また、 生徒の司会と学校行事の紹介、特 色検査解説が好評であった。 スタディーアシスト、江南ボラ ンティア活動、キャリア支援講座 等、P T Aや同窓会との連携を密 にした活動を実施し、成果を上げ た。また部活動や生徒会、J R C 委員会等による地域のボランテ リア活動に積極的に取り組んだ。</p>	<p>今後もホームページ常時更新 により学校の最新情報を発信し ていく。 今後も広報活動を積極的に行 い、入学してきた生徒を3年間 でしっかりと伸ばし、進路実現さ せている江南高校の取組とその魅 力を伝えていく。 受検者数は393名となり、昨年 度と比べ約10%増加したため、今 後も生徒の活動が見える形の学 校説明会を継続していく。 今後もP T A、同窓会、地域に 愛される学校づくりを進めてい く。</p>	<p>(学校評議員) とてもすばらしい。かつて小学生対象の説明会を 実施していた。大変良いイベントであるから、再開 してはかがが。 スタディーアシストは大変良い取組である。伝統 にしてほしい。また、P T A、同窓会との連携が充 実してきており、評価できる。江南高校の100年 に及び地域に根ざした歴史は何事にも代えがたいも のであり、名門校としてこれを活かす知恵を今後も 出してほしい。  (保護者等) ホームページの更新は外部だけでなく、保護者に とっても楽しみであり、貴重な情報源となってい る。今後もタイムリーな更新をお願いしたい。 学校とP T Aと同窓会の連携の良さはすばらし い。生徒たちがよりよい学校生活を送れるよう、今 後も学校と協力していきたい。</p>	<p>(学校評価) P T A、同窓会、学校が一体となって生徒の成長 のために連携して取り組むことができた。 保護者向けの公開授業や学校説明会について、満 足度も高く成果を上げた。  (改善方策等) 江南生の存在が、地域の中で温かく根付いている 環境をさらに生かし、地域の役割を担いながら、生 徒が生き生きと発信していく取組を進め、名門校と しての伝統を引き継いでいく。</p>
<p>生徒・保護者・地域 の期待に応え、信頼 される学校を目指 したマネジメント を推進する。</p>	<p>生徒や保護者の満足度やニー ズ調査を実施し、今後の取組に いかす成果と課題を明らかにす る。そして、その結果を教職員 だけでなく生徒や保護者にも伝 え、共に考える組織的なマネジ メントを行う。 事故・不祥事防止研修を定期 的に行い、教職員の意識向上を 図る。 防災をはじめとする安全対策 の見直しと強化を図る。 地域との連携を含んだ防災訓 練を計画的に実施し、「いのち を大切にす」防災安全教育を 推進する。 挨拶の励行や清掃を徹底し て、学習環境の更なる整備を推 進する。 学校行事等を通して、生徒と 教職員間の信頼と結束を強め る。</p>	<p>満足度調査やニーズ調査の分 析を行い、成果と課題を把握し 改善方策を見出すことができた か。 研修を適切に実施できたか。 安全対策の点検をし、改善で きたか。 地域との連携を含んだ防災訓 練を実施し防災意識を向上させ ることができたか。 挨拶の励行や清掃徹底につ いて、生徒の意識を向上させる ことができたか。 行事等を相互の協力の下で運 営できたか。</p>	<p>各行事に対する来校者のアン ケート結果を速やかに集計、伝達 し、学校に対するニーズを教職員 全体で共有することができた。卒 業生とその保護者を対象とした 魅力と特色づくりアンケートに おいては、満足度は総じて高い が、大学との連携による学習活動 の満足度が卒業生49.8%、保護者 37.0%と低く、課題となっている。 朝の打ち合わせ時及び職員会 議後に事故防止の研修を実施し、 教職員の事故防止への意識向上 を図ることができた。 防災訓練やシェイクアウト訓 練を通して、生徒の防災・安全意 識を高めることができた。 地域との連携を含んだ防災訓 練を計画したが、雨天であったた め、生徒の体験型のプログラムの みとなった。 清掃活動は円滑に進めること ができた。校内の修繕すべき箇所 については、少しずつ進めている が、まだ十分ではない。 体育祭等の学校行事を通して、 生徒と情報を共有し、互いの考え を聞きながら進めることにより、 生徒と教員間の信頼と結束を強 めることができた。</p>	<p>アンケート結果を分析し、改善 を進めることを今後も継続して いく。また大学や企業等との連携 を進め、生徒の知的探究心をさら に高めるようにしていく。 今後も継続して、信頼される学 校づくりのために、事故・不祥事 防止研修を充実させていく。 今後も防災に対する安全対策 をしっかりと行い、安全な学校づ くりを努めていきたい。 生徒一人ひとりが防災に関す る意識を高め、行動に移せるよ う、今後も地域と連携した防災訓 練を計画していきたい。 学校行事等を通して、チーム江 南としての信頼関係を今後も構 築していく。</p>	<p>(学校評議員) 生徒との会話から受け答えのしっかりとした生 徒が多い。この流れで生徒を育てていただきたい。 体育祭等の学校行事を通して生徒のリーダー性、 人間関係づくり、一体感等が育っている。今後も良 き伝統を続けて行ってほしい。  (保護者等) 丁寧な日頃の指導に感謝している。しかし大学等 との連携による満足度が低いのはよくないので、知 的探究心を高めるよう、連携を多く取り入れ、他の 進学校でも行われている開かれた学校にしてほし い。 学校の活動や台風などの緊急時の対応等、日頃か ら保護者へのごまめなメール配信が役立っている。 大切な情報や確認事項等、今後ともよろしくお願 いしたい。また修学旅行中にも生徒の様子をメールで 連絡していただけるとありがたい。</p>	<p>(学校評価) アンケート結果により、ニーズの的確な把握に努 めた。改善すべきところは、常に生徒の成長のため に何ができるかという視点を持って対応していく。 コンプライアンスの徹底を図り、事故・不祥事防 止に努めた。  (改善方策等) 今後もコンプライアンスの徹底を継続しながら、 不易と流行を踏まえた取組を進め、地域や保護者、 同窓生等に信頼される学校づくりをさらに強化し ていく。</p>